

## 来館調査における新型コロナウイルス感染症対策の基本方針

(2023年3月14日改訂版)

同志社大学赤ちゃん学研究センター

### ◆ 赤ちゃん学研究センターでの取り組み

#### 1. 調査について

- 1) 木津川市内の小学校や保育園・幼稚園において通園、通学が可能な状況であることを前提とし、関係者で調査実施について検討したうえで調査実施の可否をセンター長が判断します。
- 2) 調査を実施する場合には、参加児・保護者様に対して調査への参加を強く求めることなく、参加しないことを含めて、自由意志であることを十分に説明します。
- 3) 調査の有無に関わらず、スタッフ全員の感染症防止対策を日頃より行います。

#### 2. 調査の中止について

- 1) 参加児及びその同居家族、本研究センター勤務者について新型コロナウイルスへの感染が確認された場合、調査を中止または延期します。
- 2) 上記の者について、自宅及び来館後に検温し発熱（小児は37.5度以上、成人は37度以上を発熱と考えます）や強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）、咳、咽頭痛等の症状が確認された場合、調査を中止または延期します。
- 3) 新型コロナウイルス感染の拡大傾向や、政府・京都府・本学の方針等、状況に応じて調査地域の限定や調査中止の判断をすることがあります。

#### 3. 調査実施の注意事項

##### 1) 環境整備

- ① 各調査室における実験間隔に配慮し、換気や消毒を行います。
- ② 在館するすべての研究者、スタッフは、出勤時に検温と手指消毒を行います。また、体調管理、手洗い・咳エチケットを徹底します。
- ③ 調査のために来館されるすべての方に検温と体調の確認をさせていただき、その記録を2週間保管します。
- ④ 調査担当者はマスクを着用し、調査前に手指消毒を行います。
- ⑤ 調査内容によっては個別の感染症対策が必要となる場合があります。この場合は、予め調査担当者を中心に検討のうえ追加対策を施し実施します。

## 2) 調査時

- ① 短時間、かつ必要最少スタッフで調査を実施します。
- ② 参加児または保護者様が参加に不安を感じ、中止の意向を示した場合は直ちに調査を中止します。
- ③ 調査は予約制の完全な個別調査とします。調査の時間と場所は本研究センター全員に周知します。

### ◆ 来館者へのお願い

#### 1. 調査当日

- 1) 参加児及び保護者様は、来館日は検温し平熱であることをご確認ください。また、強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）、咳、咽頭痛、発熱（小児は 37.5 度以上、成人は 37 度以上を発熱と考えます）等の症状が認められた場合には調査を中止または延期いたしますので、調査担当者へ連絡をお願いします。
- 2) 同居するご家族に新型コロナウイルス感染者がいる場合は調査を中止または延期します。また、ご家族に発熱等の症状がある場合も調査を中止または延期しますので、その旨をご連絡ください。
- 3) 調査担当者と保護者様の対面時間を最小限にするため、調査説明書と同意書は事前にメールで送付し、ご確認ください。ご来館の際に同意書にサインしていただきます。不明な点がある場合はサインせず、ご来館後に説明を受けたうえでサインをしてください。
- 4) 調査室へは必要最小人数の入室（例えば参加児と保護者様 1 名）とさせていただき、他の同伴者は別室でお待ちいただくことがあります。
- 5) 赤ちゃんをあやすためのおもちゃは持参してください。
- 6) 成人（保護者様等）は来館時、原則、マスク着用をお願いしています。乳幼児はマスクの着用は必要ありませんが、年齢や状況によりお願いすることがあります。
- 7) 館内にて手洗い、手の消毒（アルコールに敏感な体質の方は、ノンアルコール消毒液を使用するか石鹸で手を洗っていただく）を行っていただきます。
- 8) 衛生管理上、使用済みのおむつはお持ち帰りください。
- 9) 多目的トイレを参加者専用としていますので、そちらをご使用ください。
- 10) 感染症対策には万全を期しておりますが、リスクが 0 になるわけではありません。その点をご了承のうえ、調査へのご協力をお願いいたします。